

令和4年度 老人保健事業推進費等補助金

老人保健健康増進等事業

---

---

北海道における外国人介護人材受入れに関する  
マニュアル作成等に係る調査研究事業

---

---

報告書

令和5年3月

# 目次

第1章 研究概要 .....	1
1. 研究の背景・目的.....	2
2. 実施概要.....	2
第2章 アンケート調査の実施.....	3
1. 調査概要.....	4
2. アンケート調査の主な結果.....	7
(1) 道内介護事業者向け.....	7
(2) 外国人介護人材向け.....	15
(3) 監理団体向け.....	20
(4) 登録支援機関向け.....	24
第3章 ヒアリング調査の実施.....	28
1. 調査概要.....	29
2. 調査結果.....	32
(1) 介護事業者向けと外国人介護人材向け.....	32
(2) 介護福祉士養成施設等向け.....	32
(3) 斡旋機関等向け.....	34
(4) その他向け.....	36
第4章 意見交換会の開催.....	37
1. 開催概要.....	38
2. 開催結果.....	39
第5章 マニュアルの作成.....	40
1. 既存マニュアルの整理.....	41
2. マニュアル構成.....	46
資料編.....	47
資料1 アンケート調査の集計結果.....	48
(1) 道内介護事業者向け.....	48
(2) 道内外国人介護人材向け.....	65
(3) 道外外国人介護人材向け.....	79
(4) 全国監理団体向け.....	94
(5) 全国登録支援機関.....	109
資料2 アンケート調査票原本.....	122

## 第 1 章 研究概要

## 1. 研究の背景・目的

介護に係る人材不足が深刻化する中、外国人材の受入れを進めていく必要があるが、制度が複雑なこと等から、実際の受入れについては難易度が高い実態がある。

また、北海道は積雪寒冷地であり広域分散型のため、都市部以外の地方市町村で働く外国人は休日の過ごし方が難しい等、日常生活や働く上で様々な課題がある。

本研究は、道内で働く外国人介護従事者が抱える課題の整理及び解決に向けた取組について調査を行い、道内介護事業者が実践的に活用できる「外国人介護人材受入れに関するマニュアル」を作成することを目的とした。

## 2. 実施概要

上記の目的を達成するため、本研究では道内介護事業者、道内外の外国人介護人材、全国監理団体、全国登録支援機関、道内介護福祉士養成施設及び在学の留学生を対象にアンケート調査とヒアリング調査を実施した。マニュアルの案を作成した後、介護事業者をはじめとする専門家による意見交換会を実施し、マニュアルを完成した。

具体的には以下の①～③の項目について取り組んだ。

### 【事業項目】

①アンケート調査の実施	<ul style="list-style-type: none"><li>道内介護事業者、道内の外国人介護人材、道外の外国人介護人材、全国監理団体、全国登録支援機関、道内介護福祉士養成施設及び在学の留学生を対象にアンケート調査を実施した。</li><li>アンケート調査の結果を参考し、ヒアリング調査の対象とマニュアルの構成・内容を検討した。</li></ul>
②ヒアリング調査の実施	<ul style="list-style-type: none"><li>アンケート調査の結果等をもとに、道内介護事業者や監理団体、登録支援機関、道内介護福祉士養成施設、道内外国人介護人材を対象としたヒアリング調査を実施した。</li></ul>
③意見交換会の開催	<ul style="list-style-type: none"><li>アンケート調査とヒアリング調査の結果をもとに作成したマニュアルの案に関する意見交換会を開催した。</li></ul>
④マニュアルの作成	<ul style="list-style-type: none"><li>道内介護事業者が実践的に活用できる外国人介護人材受入れに関するマニュアルを作成した。</li></ul>

## 第2章 アンケート調査の実施

## 1. 調査概要

### ①目的

アンケート調査は、道内外国人介護人材の受入れに関する現状と課題の把握、受入れ実績のある道内介護事業者の事例収集、道内介護事業者に対応できる監理団体や登録支援機関のリスト作成、道内介護福祉士養成施設と道内介護事業者との連携状況の把握を目的として実施した。

### ②実施方法と実施期間

上記の目的を達成するため、アンケートは主に2022年10月26日～11月25日と2022年12月下旬～2023年1月中旬の2回に分けて実施した。

アンケートの実施方法は郵送による配布、Google フォームによるオンライン回答、電話による確認という3つの手段を活用し、回答率の向上を図った。具体的には、下記の通り。

No.	実施方法	実施期間
1	アンケートの配布	2022年10月26日～2023年1月25日
2	Google フォームによるオンライン回答	2022年10月26日～2023年1月25日
3	電話による確認 (全国監理団体と登録支援機関を対象とした調査のみ)	2022年12月下旬～2023年1月上旬

### ③回収状況

#### 【No1. 道内介護事業者向け】

配布数	3,129 件
アンケートの回収数	527 件
実施方法	郵送

#### 【No2. 道内外国人介護人材】

配布数	※No.1 の道内介護事業者を經由して発送
アンケートの回収数	69 件
実施方法	Google フォーム

**【No. 3 道外外国人介護人材】**

配布数	1,331 件
アンケートの回収数	288 件
実施方法	Google フォーム

**【No4. 全国監理団体（介護職種資格あり）】**

配布数	1,164 件
追加電話対応数	1,066 件
アンケートの回収数	324 件
電話の接続できた件数	877 件
実施方法	郵送、電話、Google フォーム

**【No. 5 全国登録支援機関（道内事業所あり）】**

配布数	226 件
追加電話対応数	180 件
電話の接続できた件数	153 件
実施方法	郵送、電話、Google フォーム

**【No. 6 道内介護福祉士養成施設】**

配布数	20 件
アンケートの回収数	9 件
実施方法	郵送

**【No. 7 道内介護福祉士養成施設在学留学生】**

配布	No. 6 の道内介護福祉士養成施設を經由
アンケートの回収数	8 件
実施方法	Google フォーム

#### ④調査項目

アンケート調査の項目は対象者別に下記のように設定した。

No.	アンケート対象者	主な項目
1	道内介護事業者向け	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度に関する理解</li> <li>・外国人の受入れ実績や今後の受入れの意向</li> <li>・マニュアルに記載してほしい情報 等</li> </ul>
2	道内外国人介護人材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の属性</li> <li>・来日の動機や採用までのルート</li> <li>・来日前後の日本語のレベル</li> <li>・職場や生活環境における不安や不満</li> <li>・道内での継続勤務の意向 等</li> </ul>
3	道外外国人介護人材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の属性</li> <li>・来日の動機や採用までのルート</li> <li>・来日前後の日本語のレベル</li> <li>・職場や生活環境における不安や不満</li> <li>・北海道に転職する可能性 等</li> </ul>
4	全国監理団体 (介護職種資格あり)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技能実習生（介護）の取扱実績、コスト、特色</li> <li>・道内介護事業者への対応可能性 等</li> </ul>
5	全国登録支援機関 (道内事業所あり)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定技能（介護）の取扱実績、コスト、特色</li> <li>・道内介護事業者への対応可能性 等</li> </ul>
6	道内介護福祉士養成施設及び在学外国人留学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人留学生募集経験の有無、今後募集の予定</li> <li>・在学外国人留学生の状況</li> <li>・在学外国人留学生就職活動への支援</li> <li>・外国人留学生の卒業先 等</li> </ul>

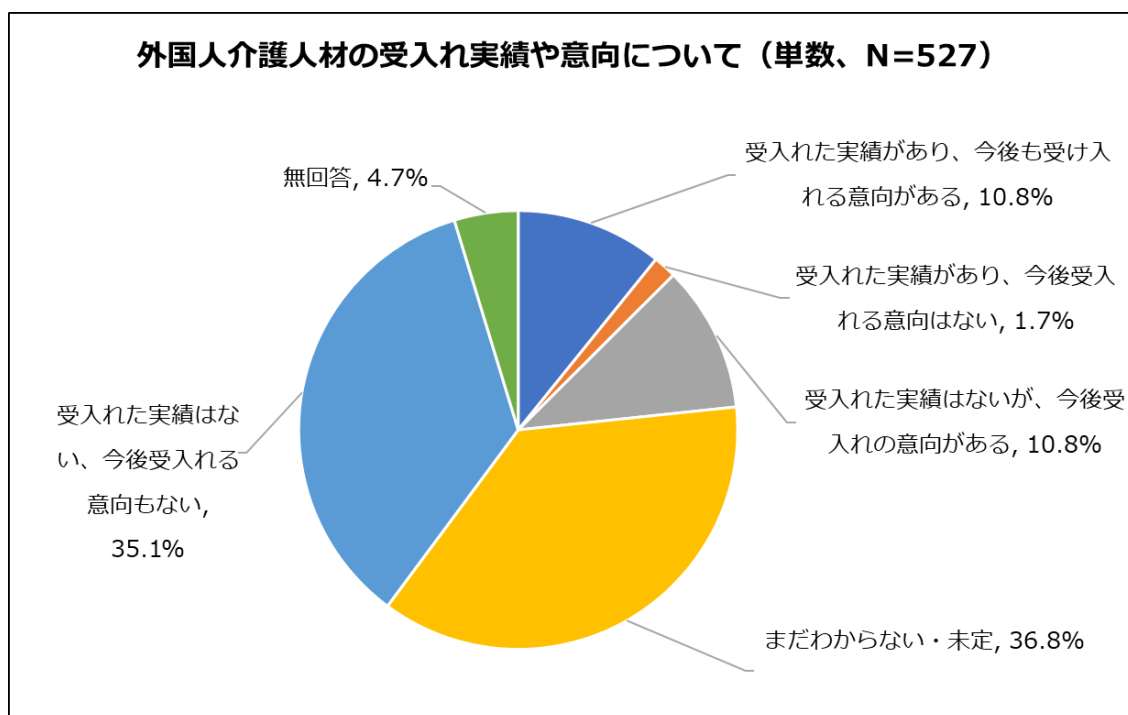


## 2. アンケート調査の主な結果

### (1) 道内介護事業者向け

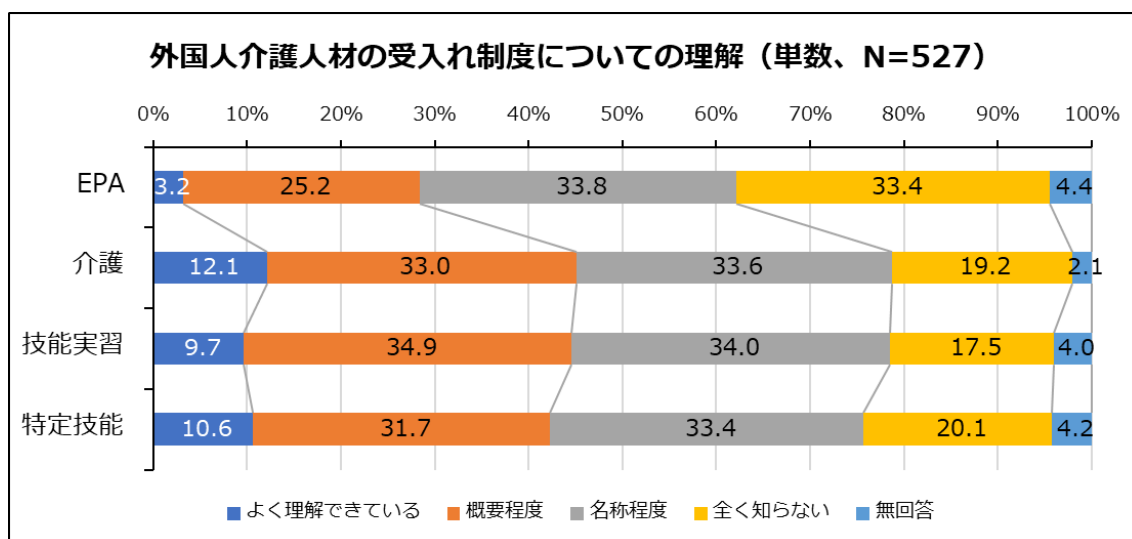
#### ①道内外国人介護人材の受入れ状況

外国人介護人材の受入れ状況について、受入れ実績のある介護事業者が 10.8%となっている。将来の予定について、「まだわからない・未定」が 36.8%と最も高く、次いで「受入れた実績はない、今後受入れる意向もない」が 35.1%となっている。「受入れた実績はないが、今後受入れる意向がある」が 1割となっている。



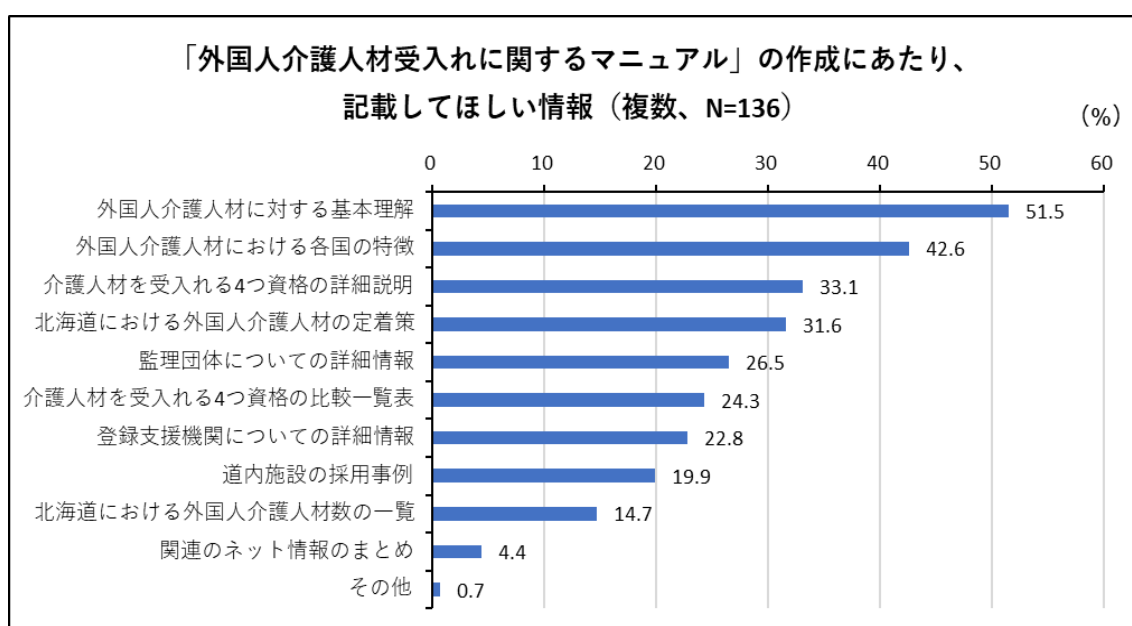
## ②制度についての理解

外国人介護人材の受入れ制度について、EPAは採用数が少ない分、理解度が一番低くなっている。それら以外は、「よく理解できている」が1割程度となっている。



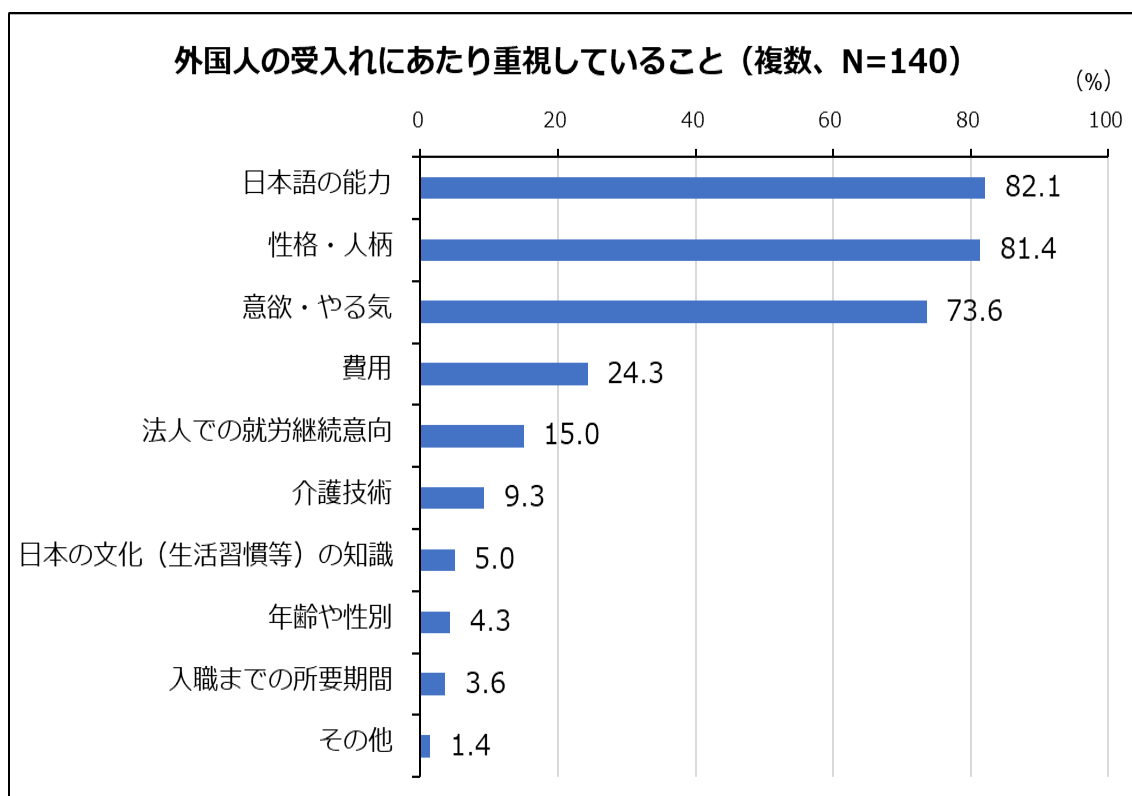
## ③マニュアルに必要な情報

マニュアルに記載してほしい項目について、「基本理解」が51.5%と最も多くなっており、次いで「各国の特徴」が42.6%、「4つの資格の詳細説明」が33.1%となっている。そのほか、トラブル発生の事例を含め、マイナス情報がほしいという声も数多くあった。



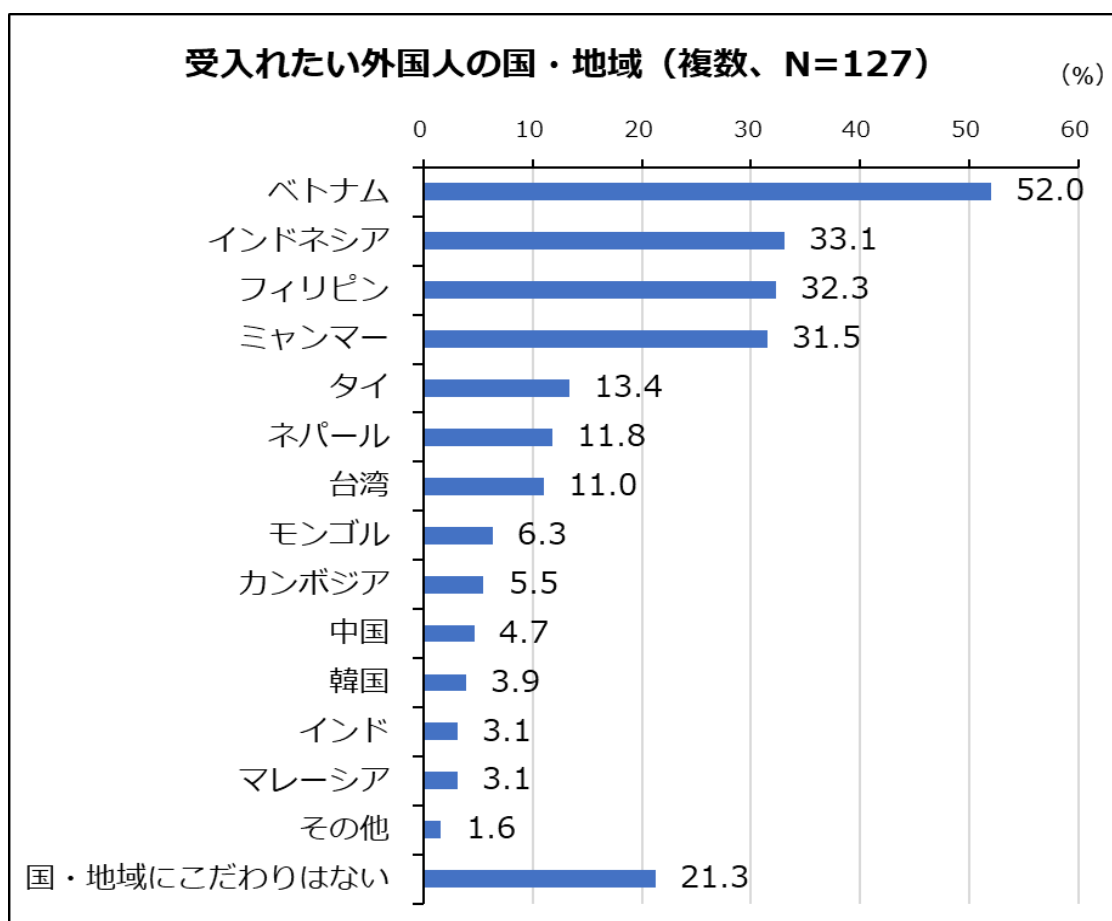
#### ④採用における重視条件

外国人介護人材の受入れにおいて、重視している条件について、「日本語の能力」が82.1%と最も高くなっており、次いで「性格・人柄」が81.4%、「意欲・やる気」が73.6%、「費用」が24.3%となっている。



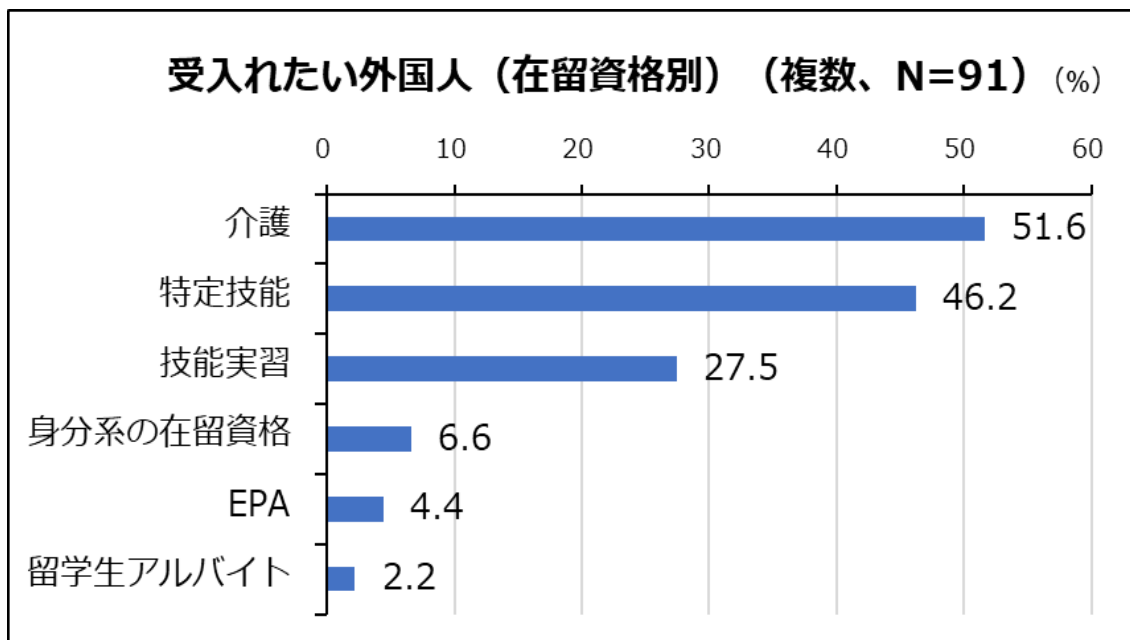
### ⑤希望の国・地域

受入れたい外国人の国・地域について、ベトナムと回答した道内介護事業者が半分以上となっている。次いで、インドネシア、フィリピン、ミャンマーが3割程度、「こだわりはない」が2割程度となっている。



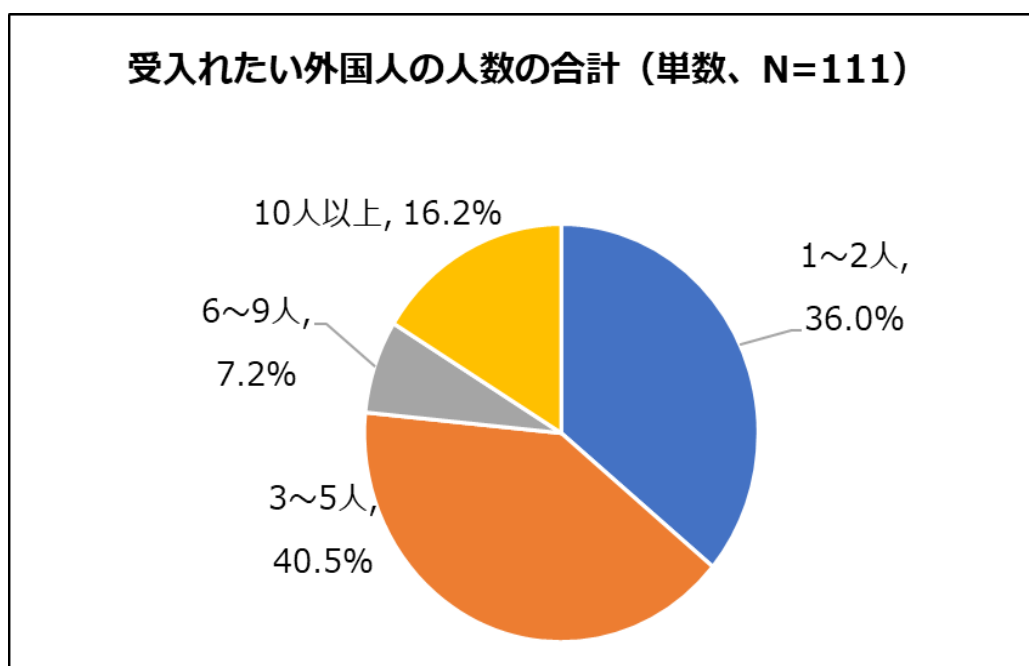
### ⑥希望の外国人の在留資格

受入れたい外国人の在留資格は、介護が半分と最も高くなっており、次いで、特定技能が46.2%、技能実習が27.5%となっている。



### ⑦希望の外国人の人数

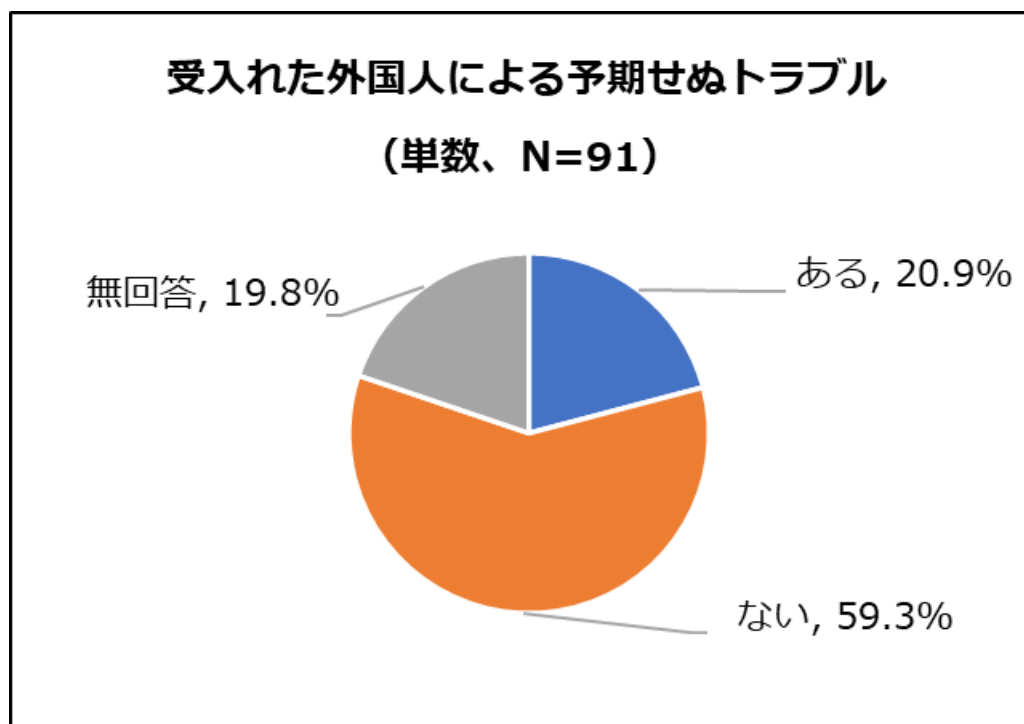
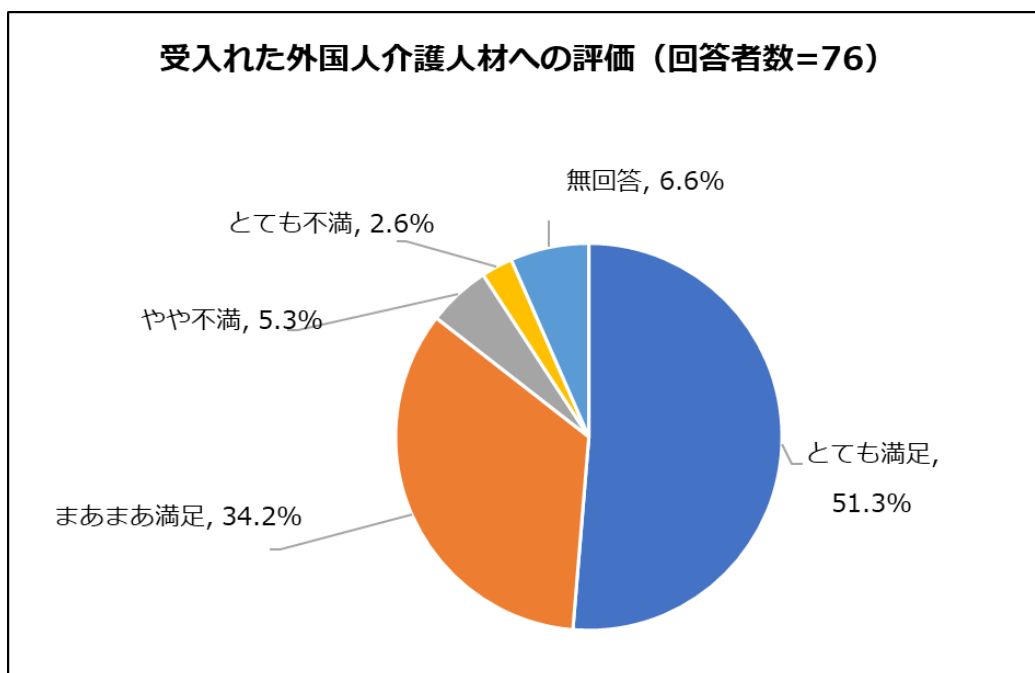
受入れたい外国人の人数について、「3～5人」が40.5%と最も高く、次いで「1～2人」が36.0%となっている。5人未満と回答した割合が8割近くとなっている。



### ⑧受入れた外国人への評価

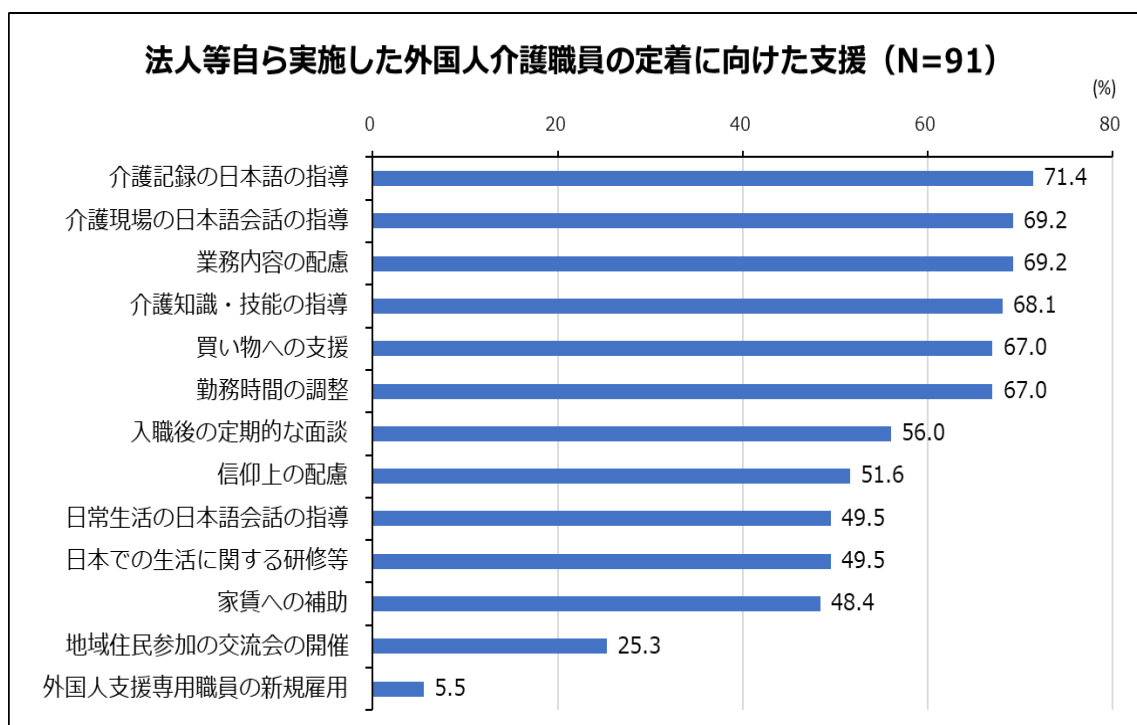
受入れた外国人について、「とても満足」が51.3%で、「まあまあ満足」が34.2%、合わせて満足と評価した道内介護事業者は8割を超えている。

受入れた外国人による予期せぬトラブルがあるのは、2割程度となっている。



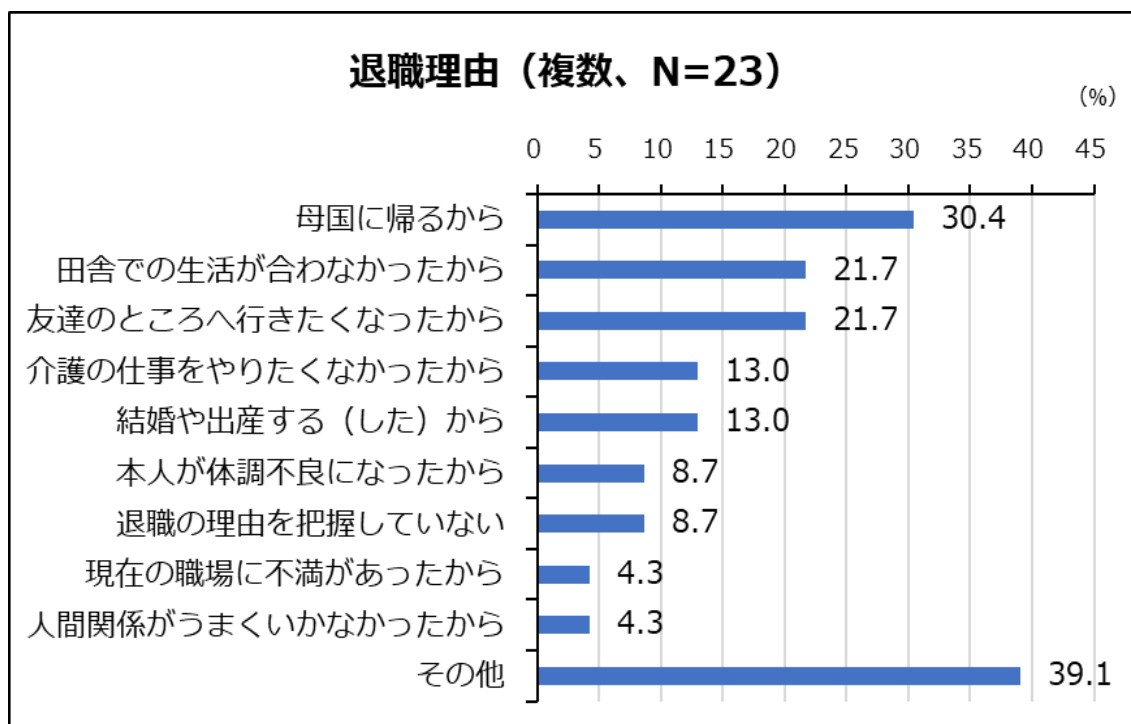
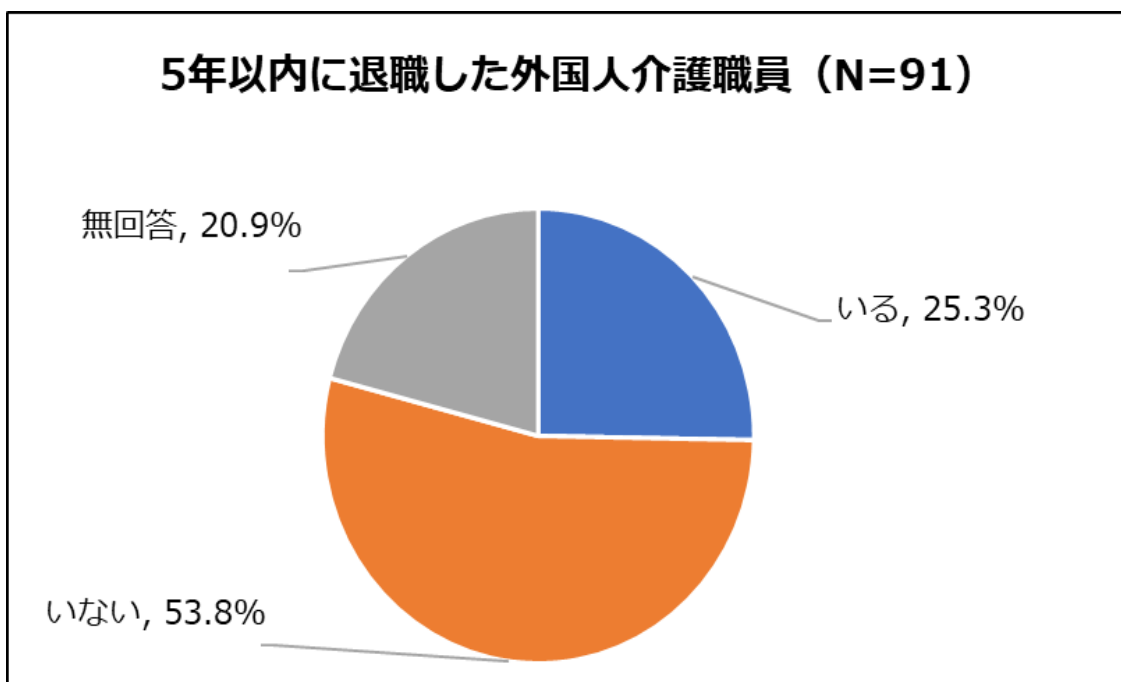
### ⑨定着に向けた支援

外国人職員の定着に向けた支援は、全体的に実施率が半分以上となっている。「介護記録の日本語の指導」が71.4%と最も高くなっており、次いで「介護現場の日本語会話の指導」と「業務内容の配慮」がともに69.2%となっている。一方、「地域住民参加の交流会の開催」は2割程度に留まっており、「外国人支援専用職員の新規雇用」が5.5%となっている。



## ⑩外国人の途中退職

5年以内で外国人が退職した経験を持っている道内介護事業者は25.3%となっている。退職の理由は、「母国に帰るから」が30.4%と最も高くなっており、次いで「田舎の生活が合わなかったから」と「友達のところへ行きたくなったから」が21.7%となっている。



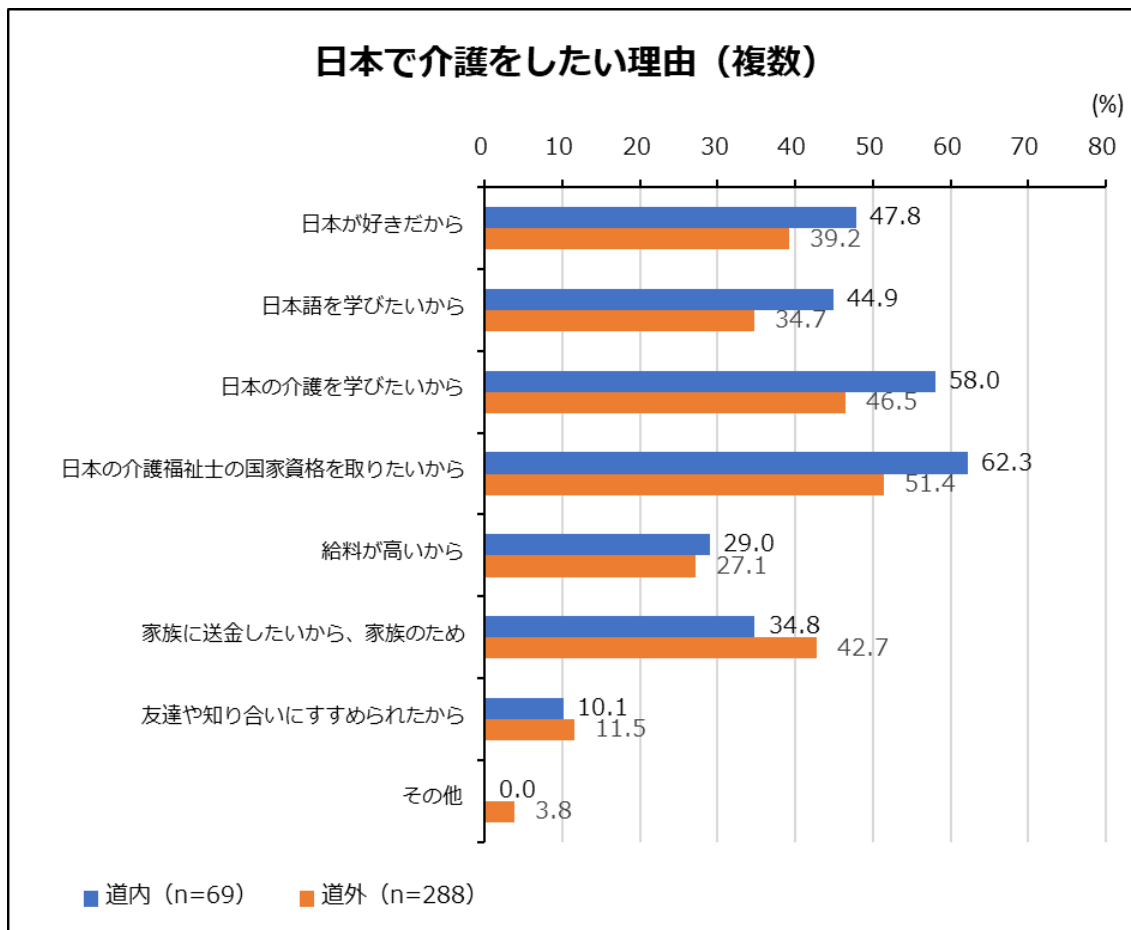


## (2) 外国人介護人材向け

### ①来日の理由

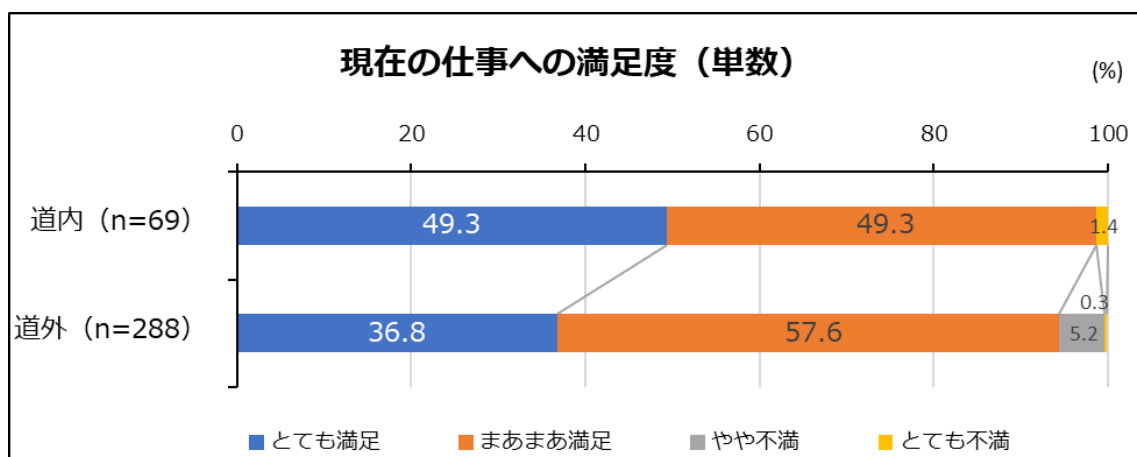
日本で介護をしたい理由について、勤務地を問わず、全体的に「日本の介護福祉士の国家資格を取りたいから」が半分以上と最も高くなっており、次いで「日本の介護を学びたいから」が2番目に多くなっている

道内と道外を比べると、介護への思いや日本への好きな気持ち、日本語を習得したい意欲は、道外より、道内のほうが高くなっているのに対して、「家族に送金したいから、家族のため」は道内より、道外のほうが高くなっている傾向がある。



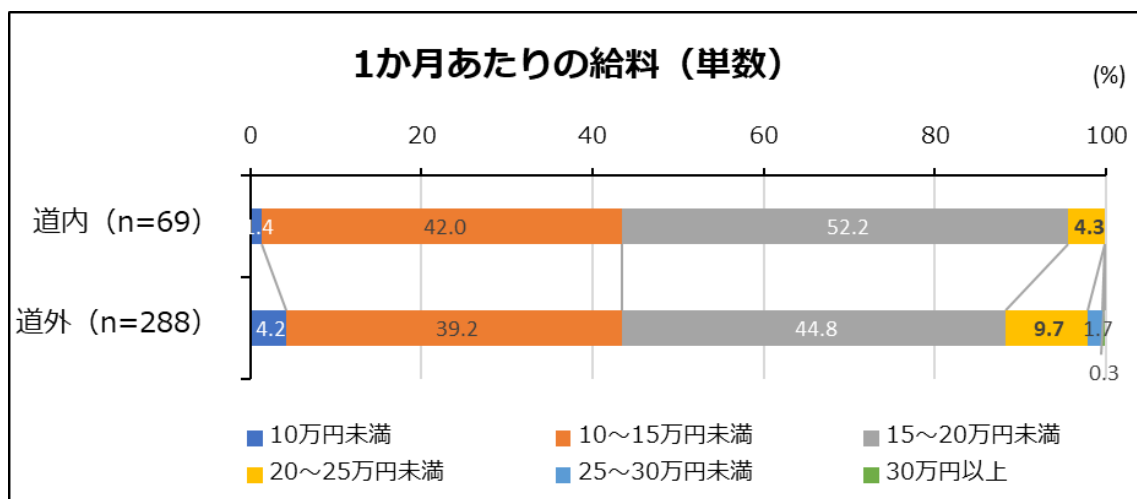
## ②現在の仕事への評価

現在の仕事への満足度について、勤務地を問わず、全体的に満足と評価した外国人は9割以上となっている。勤務地別で見ると、「とても満足」の割合は、道外（36.8%）より、道内（49.3%）のほうが高くなっている。



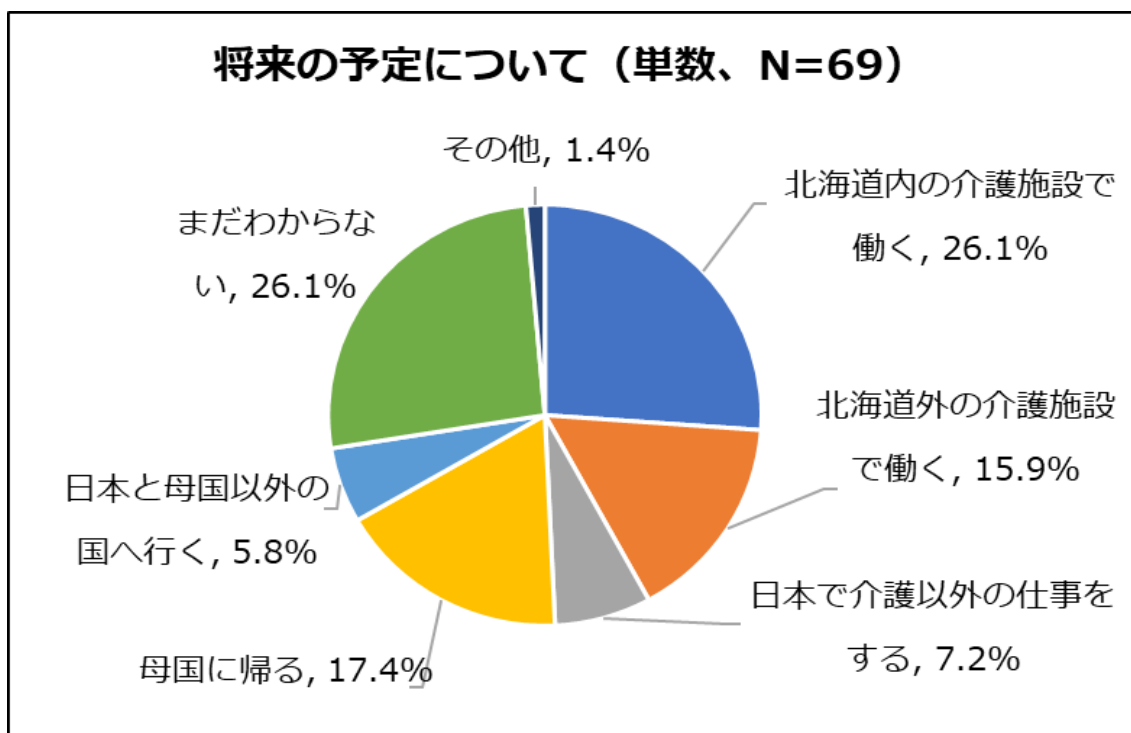
## ③現在の給料

1か月あたりの給料について、道内も道外も「15～20万円未満」の割合が最も高くなっている。一方、「20～25万円未満」の割合は道内（4.3%）より、道外（9.7%）のほうが多くなっている。



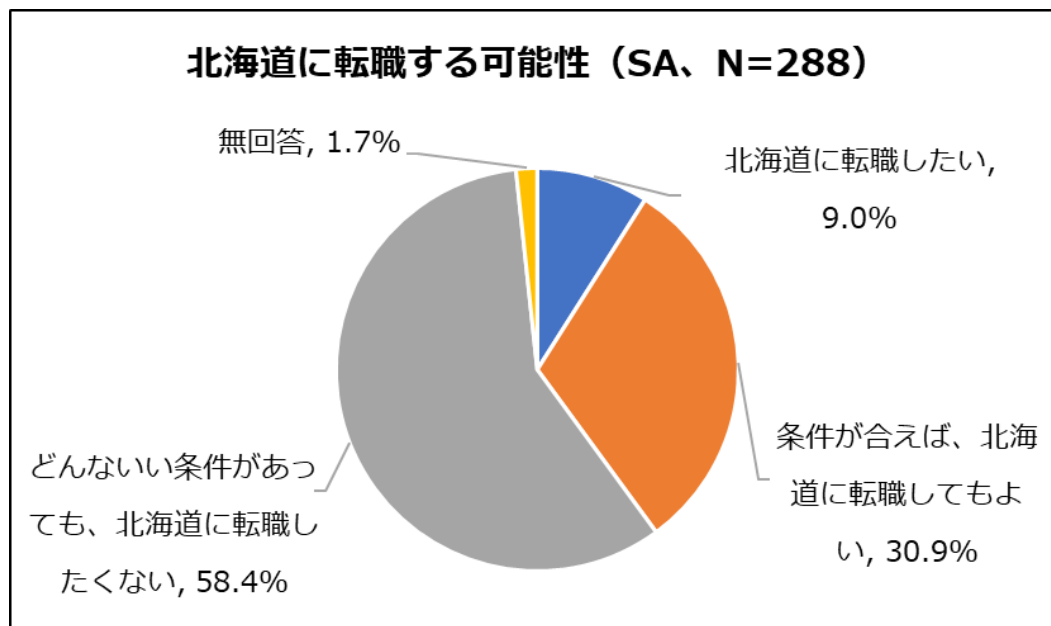
#### ④今後の予定

道内で働いている外国人の将来の予定について、「北海道内の介護施設で働く」と「まだわからない」がともに26.1%と最も高くなっており、次いで、「母国に帰る」が17.4%、「北海道外の介護施設で働く」が15.9%となっている。

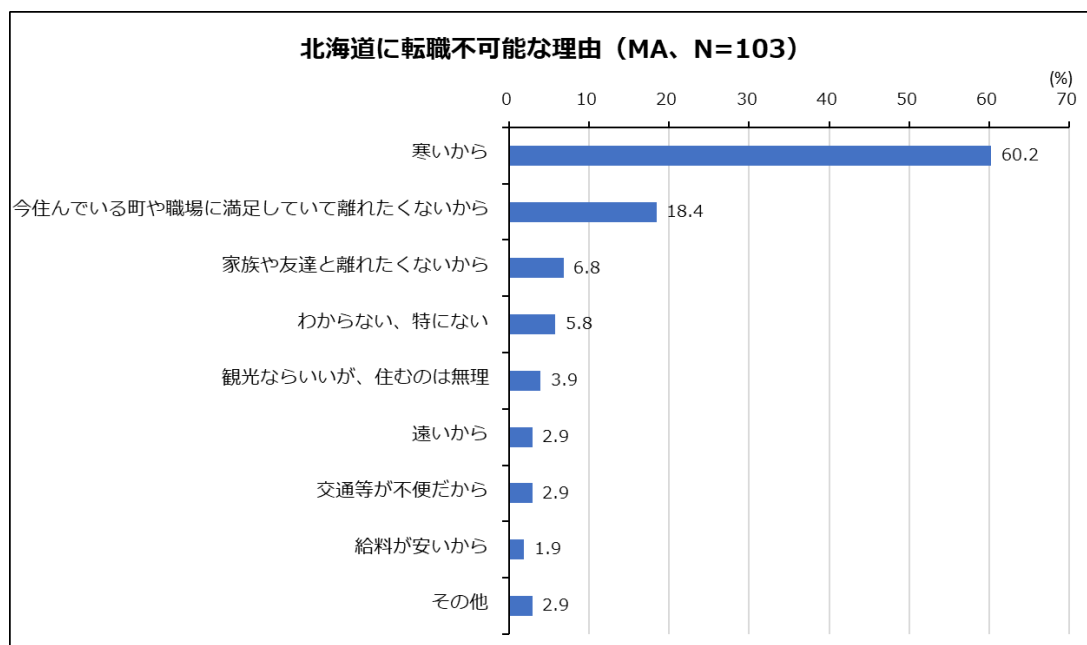


### ⑤北海道に転職する可能性

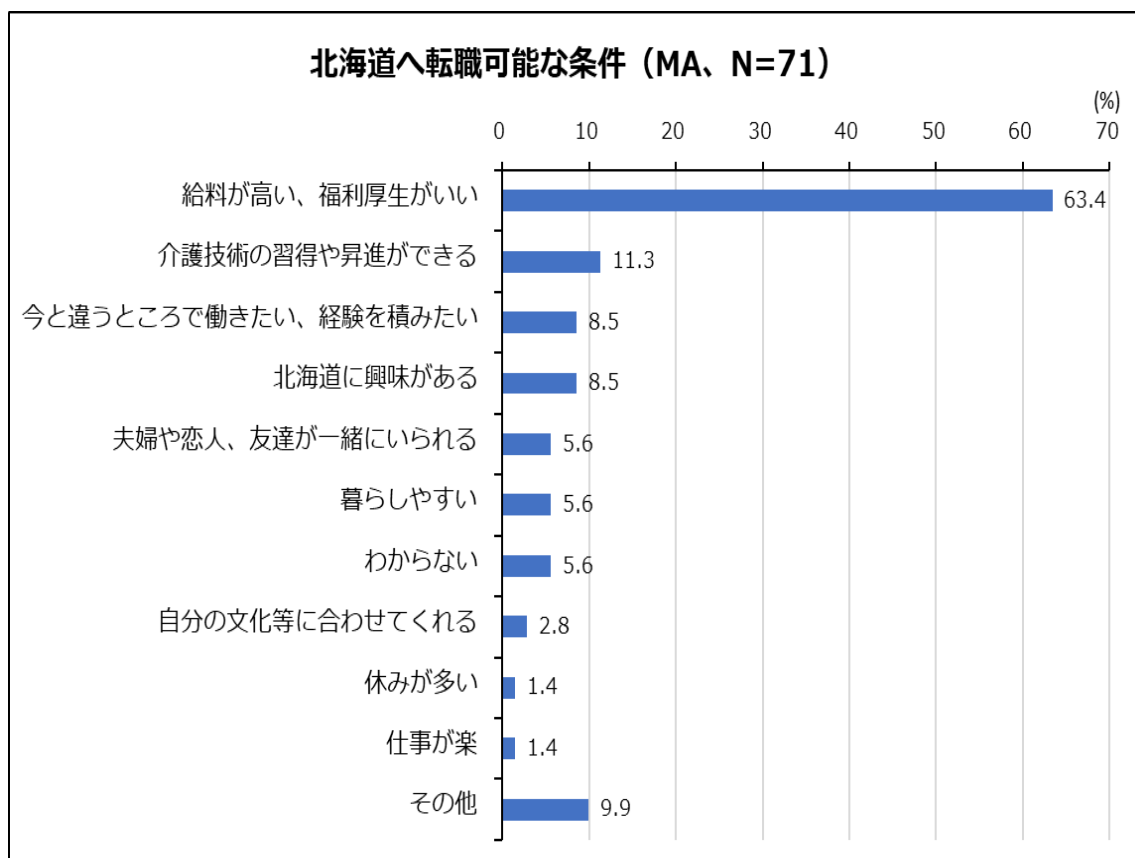
現在道外で働いている外国人を対象に、今後北海道に転職する可能性を確認した結果、「どんないい条件があっても、北海道に転職したくない」が58.4%と最も高くなっており、「条件が合えば、北海道に転職してもよい」が30.9%、「北海道に転職したい」が1割未満となっている。



転職不可能な理由について、「寒いから」が60.2%と圧倒的に多くっており、次いで「今住んでいる町や職場に満足していて離れたくないから」が18.4%、「家族や友達と離れたくないから」が6.8%となっている。



北海道へ転職可能な条件について、「給料が高い、福利厚生がいい」が63.4%と圧倒的に多くなっている。次いで「介護技術の習得や昇進ができる」が11.3%、「今と違うところで働きたい、経験を積みたい」と「北海道に興味がある」がともに8.5%となっている。

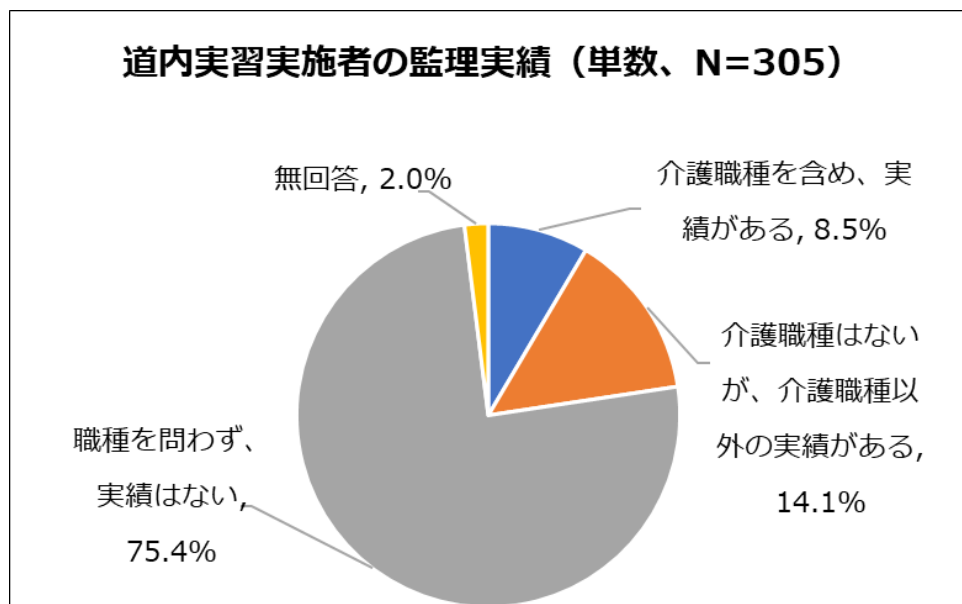


### (3) 監理団体向け

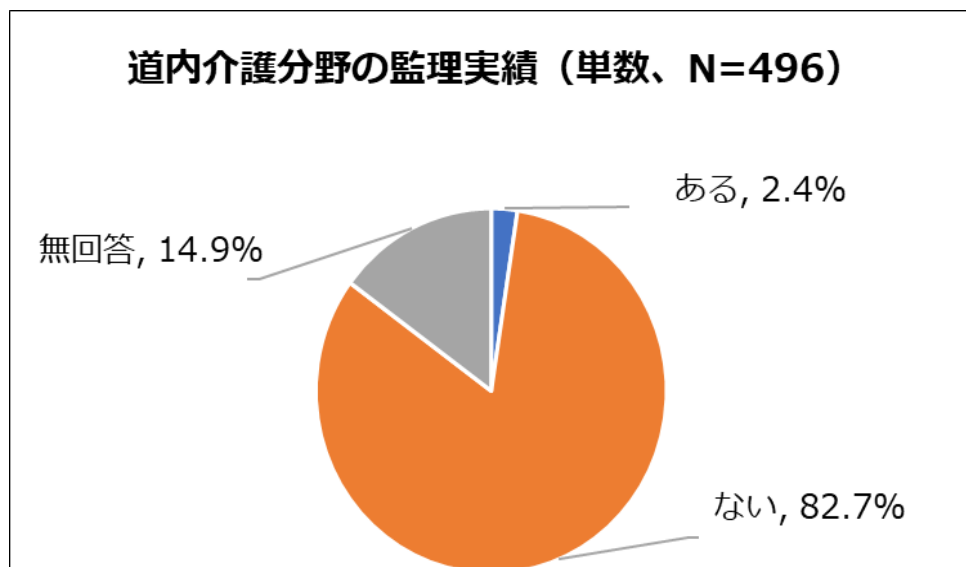
#### ①道内介護事業者に対応する可能性

介護分野の登録がある監理団体について、道内の介護分野における実績の有無を確認した結果、実績がある監理団体の割合が、アンケート用紙では8.5%、電話確認では2.4%となっている。

#### 【アンケート用紙による回答】



#### 【電話確認による回答】



## ②道内介護事業者に対応可能な団体のリスト

アンケート調査の結果に基づき、「道内介護分野における実績がある」→「道内介護分野における実績はないが、営業中である」→「道内介護分野における実績はないが、営業準備中である」の3段階に分けて、道内介護事業者に対応可能な監理団体のリストを作成した。詳細は下記の通り。

### 【道内介護分野における実績がある監理団体】

No.	団体名	所在地
1	ななかまど介護福祉事業協同組合	北海道札幌市
2	国際研修事業協同組合	北海道札幌市
3	職業訓練法人キャリアバンク職業訓練協会	北海道札幌市
4	札幌介護事業協同組合	北海道札幌市
5	協同組合 JAPAN QUALITY	北海道札幌市
6	ふれあい事業協同組合	北海道札幌市
7	公益財団法人国際人材育成機構 北海道支局	北海道札幌市
8	協同組合ネクストステージ・ジャパン	東京都
9	JCSA 同業交流・促進協同組合	東京都
10	流通産業協同組合	東京都
11	LIFE VISION 協同組合	長野県佐久市
12	ティー・アイ・シー協同組合	東京都
13	オリーブ協同組合	神奈川県伊勢原市
14	医療介護ネットワーク協同組合	東京都
15	協同組合 BM サポートセンター	大阪府大阪市
16	ライフケア医療介護事業協同組合	東京都
17	職業訓練法人北日本人材育成協会	岩手県盛岡市
18	協同組合福	群馬県高崎市
19	ダイバーシティ事業協同組合	三重県伊勢市
20	公益社団法人国際人材研修機構	東京都
21	公益社団法人全日本病院協会	東京都
22	協同組合エム・ビー・エイ産業振興	東京都
23	奉沁事業協同組合	群馬県伊勢崎市

**【道内介護分野における実績はないが、現在営業中の監理団体】**

No.	団体名	所在地
1	協同組合 K.	北海道札幌市
2	フューチャーヴィジョン協同組合	茨城県日立市
3	千葉中部流通協同組合	千葉県八街市
4	協同組合ジャパンエンジニアクラブ	愛知県岡崎市
5	VRB 協同組合	東京都
6	NPC 協同組合	東京都
7	ヒューマンビレッジ協同組合	宮城県仙台市
8	にじ協同組合	愛知県あま市
9	ベスト介護事業協同組合	東京都
10	関東ヒューマンアセット協同組合	埼玉県朝霞市
11	協同組合事業交流広島センター	広島県広島市
12	しんわ協同組合	神奈川県横須賀市
13	アジアジャパン協同組合	大阪府大阪市

**【道内介護分野における実績はないが、現在営業に向けて準備中の監理団体】**

No.	団体名	所在地
1	北海道中小企業協同組合	北海道上川郡和寒町
2	公益社団法人日本会	東京都
3	東洋ビジネス協同組合	静岡県三島市
4	茨城県福祉介護事業協同組合	茨城県つくば市
5	日本ケアビジネス協同組合	千葉県千葉市
6	ジェー・オー・ピー協同組合	宮城県仙台市
7	JS 協同組合	東大阪市
8	トラスト協同組合	愛知県名古屋市
9	ビジョンステージ協同組合	大阪府大阪狭山市
10	CIC 協同組合	名古屋市
11	日比介護国際協同組合	愛媛県松山市
12	こばと協同組合	静岡県袋井市
13	グローバルキャリア職業訓練法人	神奈川県川崎市
14	さくら国際交流協同組合	東京都
15	協同組合静岡国際介護	静岡県袋井市
16	ワールド・ネット協同組合	広島県福山市
17	協同組合友	徳島県鳴門市



No.	団体名	所在地
18	健康生活事業協同組合	東京都
19	協同組合 LINK	東京都
20	AZK 協同組合	愛知県安城市
21	BRC 事業協同組合	東京都
22	アジアテックシード事業協同組合	東京都
23	協同組合一心	大阪府泉南郡岬町
24	KAIGO 人材育成協同組合	大阪市
25	次世代創造協同組合	東京都
26	つばめ協同組合	兵庫県川西市
27	ネクサス協同組合	岡山県岡山市
28	外国人雇用支援事業協同組合 (旧 JHRB)	東京都
29	81 協同組合	千葉県船橋市
30	アンサー事業協同組合	静岡県御殿場市
31	マロニエケアアシスト協同組合	栃木県宇都宮市
32	協同組合アキュミュレーション	埼玉県さいたま市
33	協同組合 FUJI	神奈川県横浜市
34	i ビジネス異業種交流協同組合	福島県郡山市
35	協同組合アイビー	群馬県伊勢崎市
36	協同組合アテタジャパン	香川県高松市
37	東京多摩福祉協同組合	東京都青梅市

また、上記リストにある各団体について、下記の情報を収集してまとめた。

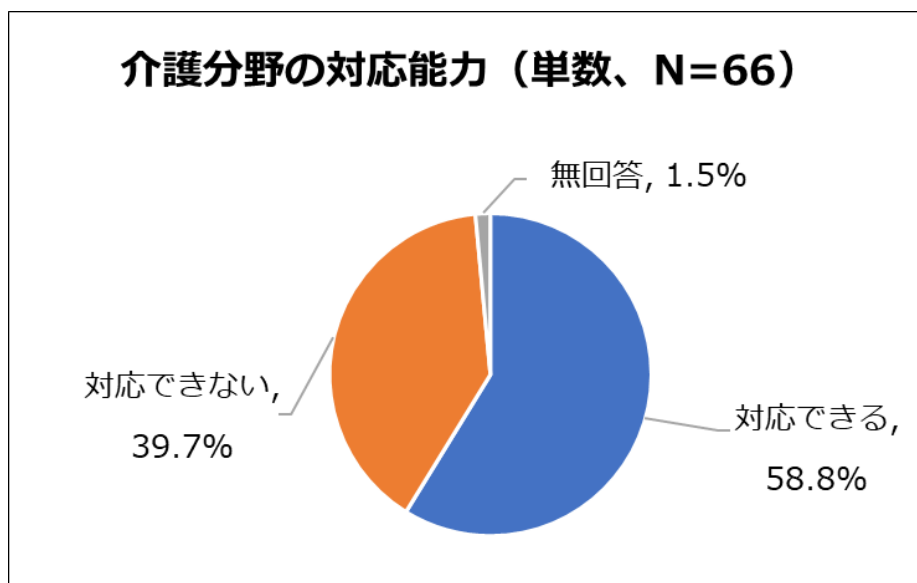
大項目	小項目
基本情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 名称、所在地、職員数、母体となる親法人</li> <li>・ 道内事業所の有無、海外事業所の有無</li> <li>・ 介護分野で対応可能な国</li> </ul>
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技能実習生の入国後講習</li> <li>・ 技能実習生との面談等</li> </ul>
介護分野の実績について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技能実習生の実績の有無、契約の道内法人数</li> <li>・ 実績のある技能実習生人数や国・地域、在留資格</li> <li>・ 最短所要期間、平均所要期間、最長所要期間</li> <li>・ 初期費用、定期費用、不定期費用</li> </ul>
団体や機関の PR	
連絡先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 担当者名、電話番号、メール</li> </ul>

#### (4) 登録支援機関向け

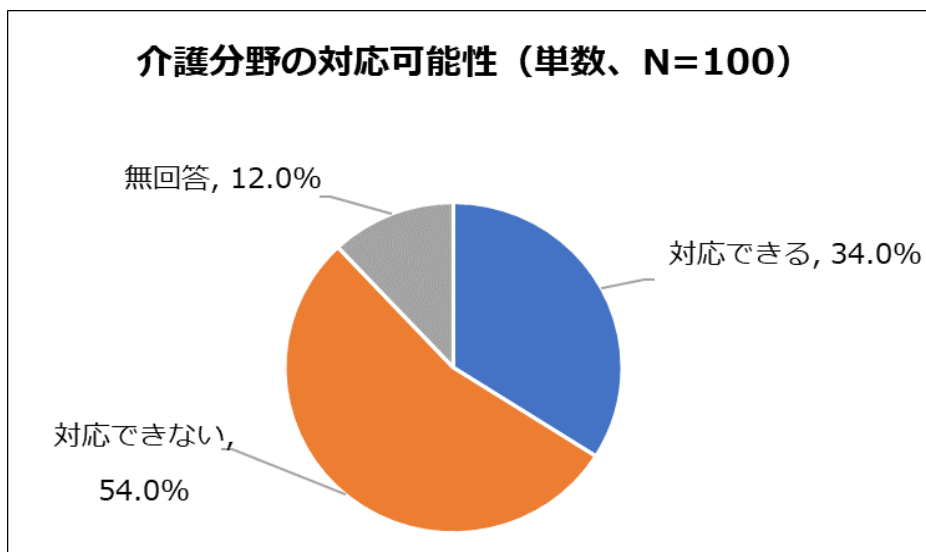
##### ①道内介護事業者に対応する可能性

介護分野における外国人介護人材の受入れの対応可能性について、アンケート用紙による結果では「対応できる」が6割近く、「対応できない」が4割近くとなっており、電話確認の結果では「対応できる」が34.0%、「対応できない」が54.0%となっている。

##### 【アンケート用紙による回答】

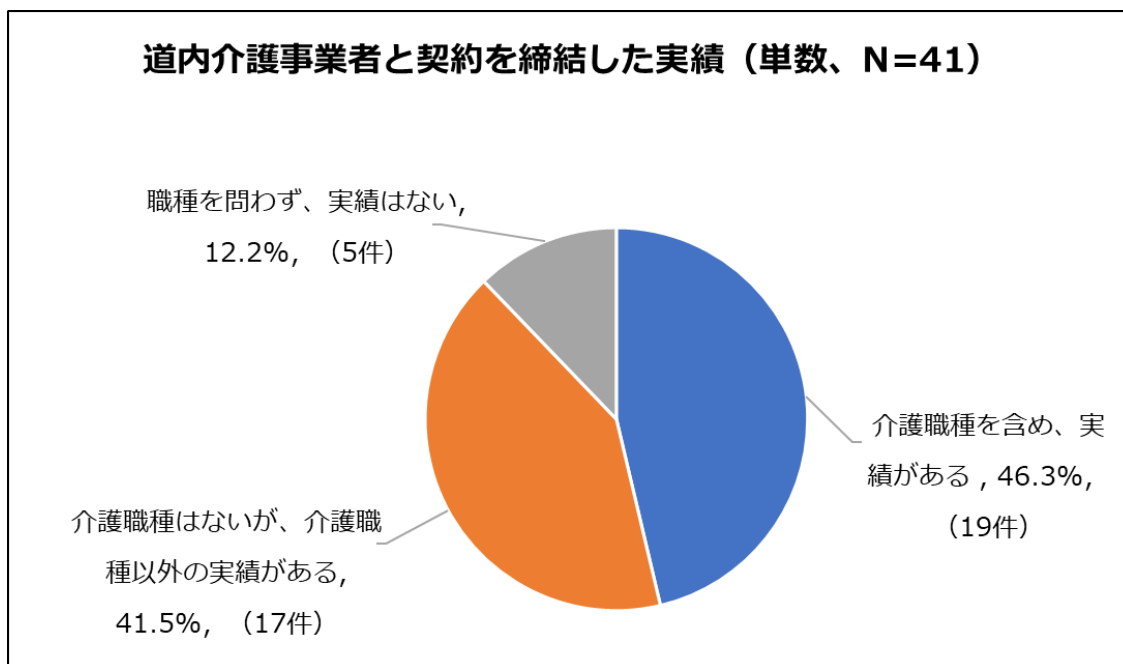


##### 【電話確認による回答】

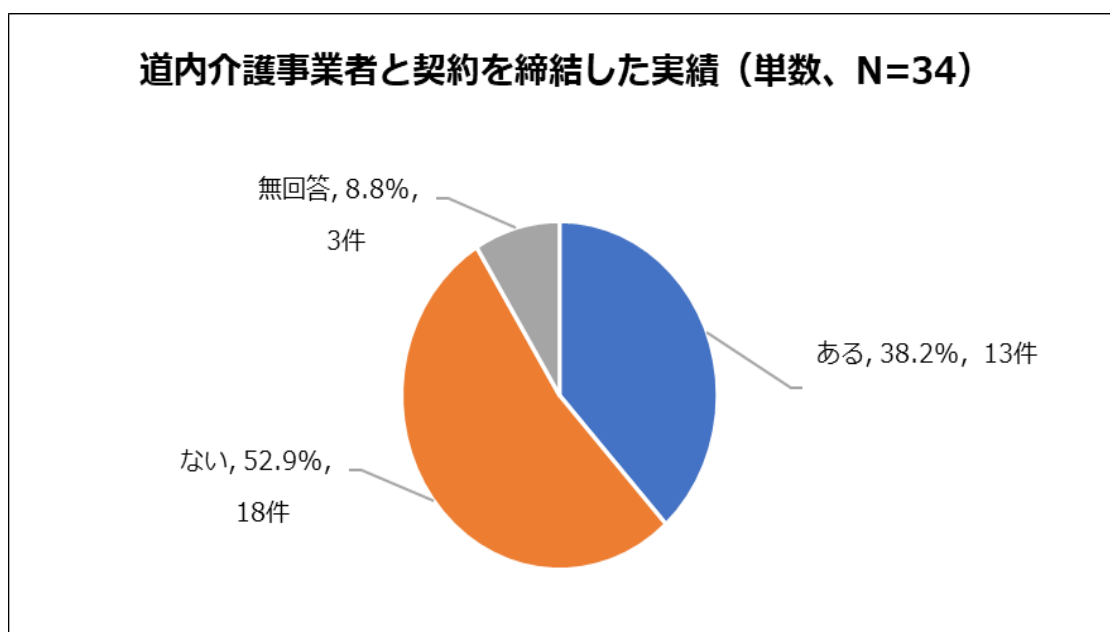


さらに、介護分野における外国人介護人材受入れに対応可能な登録支援機関に、道内実績の有無を確認した結果、実績がある割合が、アンケート用紙では 46.3%、電話確認では 38.2%となっている。

【アンケート用紙による回答】



【電話確認による回答】



## ②道内介護事業者に対応可能な登録支援機関のリスト

アンケート調査の結果に基づき、「道内介護分野における実績がある」→「道内介護分野における実績はないが、営業中である」→「道内介護分野における実績はないが、営業準備中である」の3段階に分けて、道内介護事業者に対応可能な登録支援機関のリストを作成した。詳細は下記の通り。

### 【道内介護分野における実績がある登録支援機関】

No.	機関名	所在地
1	国際人材開発事業協同組合	北海道滝川市
2	山田大介 (TFS)	北海道帯広市
3	はこだて行政書士事務所	北海道函館市
4	一般社団法人海外人材開発推進機構	北海道札幌市
5	エスプリリンク株式会社	北海道釧路市
6	中和石油株式会社	北海道札幌市
7	札幌介護事業協同組合	北海道札幌市
8	株式会社 JAPAN QUALITY	北海道札幌市
9	有限会社コミュニテイ	北海道紋別市
10	株式会社 Jwind	北海道札幌市
11	株式会社 ONODERA USER RUN	東京都
12	PERSOL Global Workforce 株式会社	東京都
13	MIRAI 株式会社	東京都
14	株式会社エイチアールビー	北海道旭川市
15	一般財団法人日本礼儀作法協会	東京都
16	株式会社 UTI	福岡市

### 【道内介護分野における実績はないが、現在営業中の登録支援機関】

No.	機関名	所在地
1	株式会社沓名産業	愛知県安城市
2	株式会社 HOKUTO システムズ	北海道石狩市
3	羽萌国際株式会社	北海道千歳市
4	キャリアフィットインターナショナル株式会社	北海道札幌市
5	ポールトゥウィン株式会社	東京都

【道内介護分野における実績はないが、現在営業に向けて準備中の登録支援機関】

No.	機関名	所在地
1	株式会社フジアウトソーシング	北海道札幌市
2	株式会社インフィニティ	北海道札幌市
3	Office いしむら有限会社	北海道千歳市
4	株式会社 IGT	北海道千歳市
5	壁村稔（行政書士 MINORU 法務オフィス）	北海道函館市
6	池田つかさ行政書士事務所／FIT サポート合同会社	北海道札幌市
7	長谷川社労士・行政書士事務所	北海道北広島市
8	東洋ビジネス協同組合	静岡県三島市
9	協同組合 REIWA	愛知県名古屋市
10	坂田昌鴻	神戸市

また、上記リストにある各団体について、下記の情報を収集してまとめた。

大項目	小項目
基本情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 名称、所在地、職員数</li> <li>・ 道内事業所の有無、海外事業所の有無</li> <li>・ 母体となる親法人、国内連携機関</li> <li>・ 外国人との面談等の実施方法</li> </ul>
費用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初期費用（最安、平均、最高）</li> <li>・ 定期費用（最安、平均、最高）</li> </ul>
介護分野の実績について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実績の有無</li> <li>・ 実績のある法人総数、道内法人数</li> <li>・ 実績のある外国人数、外国人のルート</li> <li>・ 最短所要期間、平均所要期間、最長所要期間</li> </ul>
団体や機関の PR	
連絡先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 担当者名、電話番号、メール</li> </ul>

### 第3章 ヒアリング調査の実施

## 1. 調査概要

### ①目的

ヒアリング調査は、道内外国人介護人材の受入れに関する現状と課題の把握、受入れ実績のある道内介護事業者の事例収集を目的に実施した。

### ②ヒアリングの項目

介護事業者向け	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 外国人を受入れた理由、経緯、背景</li><li>・ 外国人を受入れた具体的なプロセス</li><li>・ 受入れにおける施設側の準備、大変だったこと、配慮 &amp; 留意すべき事項</li><li>・ 外国人の定着に向けた支援</li><li>・ 今後の予定</li><li>・ マニュアルへの助言 等</li></ul>
外国人介護人材向け	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 来日前の状況</li><li>・ 来日の理由や経緯</li><li>・ 現在の生活や仕事について</li><li>・ 将来の予定 等</li></ul>
介護福祉士養成施設等向け	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 協議会の概要</li><li>・ 協議会を介護事業所に就職した外国人介護人材の状況</li><li>・ 在留資格「留学」のメリットとデメリット</li><li>・ 道内介護事業者の反応</li><li>・ 協議会の今後の動きについて</li><li>・ 外国人留学生確保の課題や地域定着の課題</li><li>・ 日本語学校や福祉専門学校卒業生の進路の状況 等</li></ul>
斡旋機関等向け	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 成立した経緯</li><li>・ 外国人介護人材の取扱実績</li><li>・ 団体や機関の特色、必要な費用、支援した事例</li><li>・ 介護分野の受入れ事業者のニーズ 等</li></ul>
その他向け	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 道内外国人介護人材受入れの現状と課題 等</li></ul>

### ③実施日程

No.	法人名	所在地	実施日程	備考
1	社会福祉法人黒松内つくし園 / 協同組合 JAPAN QUALITY / 株式会社 JAPAN QUALITY	札幌市	2022/7/15 (金)	介護事業者/ 監理団体/ 登録支援機関
2	木古内町	木古内町	法人向け： 2022/8/4 (木) 外国人向け： 2022/12/27 (火)	介護事業者 (実績あり)
3	パーソルキャリア株式会社	札幌市	2022/7/20 (水)	登録支援機関/ コンサルタント
4	社会福祉法人小樽育成院	小樽市	2022/8/24 (水)	介護事業者 (実績あり)
5	有限会社ケアステーション せたな	せたな町	会社向け： 2022/8/31 (水) 外国人向け： 2022/12/27～28	介護事業者 (実績あり)
6	社会福祉法人石狩市社会福祉協議会	石狩市	2022/9/2 (金)	介護事業者 (実績あり)
7	東川町立東川日本語学校/ 外国人介護福祉人材育成支援協議会	東川町	2022/9/14 (水)	介護福祉士養成 施設
8	社会福祉法人勤医協福祉会	札幌市	2022/9/15 (木)	介護事業者 (実績なし)
9	社会福祉法人愛誠会	むかわ町	2022/12/26 (月)	介護事業者 (実績あり)
10	社会福祉法人真宗協会	帯広市	2023/1/10 (火)	介護事業者 (実績あり)



No.	法人名	所在地	実施日程	備考
11	社会福祉法人奥尻福祉会	奥尻町	2023/1/10（火）	介護事業者 （実績あり）
12	社会医療法人柏葉会	札幌市	2023/1/11（水）	介護事業者 （実績あり）
13	社会福祉法人猿払福祉会	猿払村	2023/1/13（金）	介護事業者 （実績あり）
14	医療法人社団天仁会	北見市	2023/1/17（火）	介護事業者 （実績あり）

## 2. 調査結果

### (1) 介護事業者向けと外国人介護人材向け

介護事業者向けと外国人介護人材向けのヒアリング結果は、道内の採用事例としてマニュアルに記載した。掲載のイメージは下記の通り。

事例2

社会福祉法人真宗協会 在留資格  
介護

住所：帯広市空南町303-1

■従業員数：585名  
■利用形態：アイメイド株式会社、株式会社アシアジア  
■連携養成施設：帯広コア専門学校  
■外国人受入れ開始年度：2017年  
■費用：日本語学校60万円/年/人  
帯広コア専門学校200万円/年/人  
居住環境整備費用1億円

外国人の受入状況		
在留資格	送出国	受入れ人数
介護	ベトナム	16名
特定技能	ベトナム	1名
留学	ベトナム	20名
留学	ネパール	2名

**外国人を受入れた理由と経緯**

人材の確保が慢性的に厳しくなり、2011年から管内の高校生向けの奨学金支援を始めましたが、保護者の介護に対するマイナスの考えなどで、人材を確保できませんでした。そこで、帯広コア専門学校理事長の紹介で、東京の日本語学校で勉強している外国人の採用を検討したことがきっかけでした。

**外国人を受入れたプロセス**

- ベトナム現地で外国人と面接
- 東京の日本語学校に1年間通学
- 当法人施設でアルバイトをしながら、帯広コア専門学校で2年間勉強
- 正職員として施設に就職（最低5年就職すれば奨学金返還が免除される）

**受入れにおける施設側の準備**

- 外国人向けの賃貸物件は市内に少ないので、外国人介護人材宿舎用の住宅を建てました。
- 帯広コア専門学校に来た時、外国人の転居手続きや国民保険等、法人本部職員が一緒に同行し手続きを実施し、事業用のテキストにルビを揃って留学生に配布していました。

**外国人の定着に向けた支援**

- 外国人が帯広コア専門学校に通いながら施設でアルバイトをするときは、月10万円位を稼げるように最低賃金より速かに超過した時給設定をしました。
- 就職後、仕事面について、外国人も日本人と同様に処遇の改善や昇給制度の導入を実施し、月に1回施設単位で外国人向けの面接を行っており、給料付きで外国人全員が集合して仕事に対する不満等を話してもらっています。生活面については、法人本部職員が月1回外国人の自宅に訪問して悩み相談等に対応しています。
- 家賃は実費負担1万円に設定しています。
- 現在は外国人カップルが3組できて、そのうち2組が子供を育てています。日本人と同様に、外国人職員への子育て支援も始めています。

#### 今後の予定

- ベトナム人の確保が難しくなり、今までの留学から介護のルートの継続化が厳しくなりました。ベトナムの技能実習生と特定技能の外国人を検討しているところです。また、インドネシアやモンゴルも増加傾向があるようなので、それらの国からの受入れも検討しています。
- 留学から介護で働いている外国人をリーダーにして、後に来る技能実習生と特定技能の方を指導することを考えています。

#### ホアン ティ ヒエン さん

特別養護老人ホーム 帯広慈恵の里

#### プロフィール

年齢	27歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>■2014年～2016年にベトナムの医療看護専門学校で看護を勉強</li> <li>■ベトナムの人材会社で日本語を9か月勉強し、N5に合格</li> <li>■ベトナムで理事長と面接して内定を受諾</li> <li>■2017年に東京の日本語学校で日本語を1年間勉強</li> <li>■2018～2020年に帯広コア専門学校で介護を2年間勉強し、期間中N2に合格</li> <li>■2020年3月に介護福祉士の国家試験に合格</li> <li>■2020年4月1日に施設に就職</li> <li>■2021年8月に普通自動車免許を取得</li> </ul>	
国籍	ベトナム		
家族構成	両親、兄1人		
婚姻状況	独身		
趣味	音楽、アニメ、ドラマ鑑賞		
在留資格	介護		
母国での最終学歴	専門学校（2年間）		
Q：日本に来た理由は？	ベトナムの医療看護専門学校に通っていたとき、人材紹介会社が学校へ営業に来ました。その後、日本のアニメ等を見て、日本に興味を持つようになりました。		
Q：休みの日は？	車で行く物に出かけることが多いです。花屋さんやペットショップを見るのが楽しみです。		
Q：北海道の生活は？	<ul style="list-style-type: none"> <li>■来日後の1年間は東京の日本語学校に通っていたので、日本と言ったら東京のイメージが強かったです。帯広に到着すると東京と全然違ったので、最初はがっかりしましたが、今は生活費が安く静かなところだと思い、とても満足しています。</li> <li>■帯広コア専門学校に通っていたとき、アルバイト先の施設長は毎日寮から学校への送迎をしてくれました。今でも感謝の気持ちでいっぱいです。</li> </ul>		
Q：今後の予定は？	今年日本語能力試験N1を取る予定です。将来は結婚したいです。		

### (2) 介護福祉士養成施設等向け

#### 【協議会の概要について】

- ・道内外国人介護人材の受入れと確保を目指し、外国人介護福祉人材育成支援協議会は2015年に設立した。
- ・協議会は東川町が事務局となり、北工学園旭川福祉専門学校、町立日本語学校、東アジア地域交流促進協議会、海外事務所等で構成されている。
- ・協議会では、将来介護事業所に就労の意思のある留学生を対象に、国からの特別交付税8割、自治体が2割負担する給付額奨学金で支援している。

- ・ 正会員は自治体と事業所が一緒に加入することが要件となっている。
- ・ 留学生は1年間旭川福祉専門学校または町立日本語学校でN2程度まで日本語を習得後、旭川福祉専門学校介護福祉科で2年間介護を学び、介護福祉の資格取得を目指す。卒業後は、正会員の介護事業所に一定期間就労することで奨学金の返済が免除される。

#### 【学生の確保等について】

- ・ 留学生は毎年20名前後確保できている。
- ・ 入学数を確保するに、日本国内中の日本語学校に声掛けをしている。
- ・ 海外からの留学生は海外事務所を通して募集している。
- ・ 外国人の入学ルートについて、日本国内からより、海外事務所を経由して入学する留学生のほうが多かったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、国内からの学生が多くなっている。
- ・ 北海道に憧れがあるという理由で、北海道に留学しに来る学生が多い。
- ・ 日本語学校では、他校との差別化を図るため、日本語文化講座を設けている。
- ・ 日本語学校に入学する外国人の学歴は大学を卒業した人が80%ぐらいである。
- ・ 留学生の日本語のレベルについて、海外事務所から入学する留学生は日本語のレベルが高い。東京や大阪からの学生は、アルバイト等に多数の時間をかけた理由等で、日本語のレベルがあまり高くない傾向がある。

#### 【学生の進路について】

- ・ 留学生が入学した直後、本人に進路等を確認している。
- ・ 就職したい人に就職プランを紹介している。
- ・ 日本語学校を卒業後、介護の専門学校に行く人は、数パーセントしかいない。
- ・ 介護の専門学校で2年間勉強して卒業後、介護福祉士の国家試験に合格できない人もいる。

#### 【自治体や介護事業者とのマッチングについて】

- ・ 留学生と自治体や介護施設とのマッチングについて、留学生に協議会の会員である介護施設に見学してもらい、希望の就職先を確認している。希望先で実習を経験し、介護施設の意向も確認したうえ、マッチングを実施している。
- ・ 体調不良や職場の環境に慣れない理由等で、途中で退職する人もいた。その場合、自治体や施設に新規留学生を派遣できるようにしている。

#### 【就職後の卒業生へのフォロー】

- ・ 毎年 8 月に卒業生のセミナーを開催している。施設に就職した後の卒業生の職場の悩みや給料等について相談を受けている。卒業生からの声を施設にも共有するようにしている。

#### 【課題等について】

- ・ 奨学金をもらい、卒業後に介護施設に就職するという制度は東南アジアにあまりないようである。留学生に制度を説明しても、なかなかイメージができず、理解してくれないことが多い。
- ・ 留学生を受入れた施設の温度差がある。その差を埋めるには、受入れにおける注意事項等について、施設側に向けて情報発信をしている。
- ・ 今は 1 自治体に 1 人確保できるようにしている。自治体から人数を増やしてほしいという声があるが、それにまだ対応できていない。

### (3) 斡旋機関等向け

#### 【監理団体の現状と課題について】

- ・ 監理団体を模索していても、あまりいい情報がない。悪質なところが多く、奴隷制度と言われるほどひどいところもある。
- ・ ベトナムに現地視察をしたが、状況を確認すると、監理団体に接待が強要されることが多いようである。調べていくと、学生にもブローカーが入っていて、借金を負わせるケースが数多くある。借金を負って悲惨に帰った実習生もいた。悪質なところが多かった。
- ・ 監理団体の質を判断するような基準はない。数値的なものから何もわからない。実際に接触しない限り、監理団体がどれぐらいかかわってくれるかわからないところが多い。
- ・ 現状だと、失踪のケースが出たりして初めてその監理団体の評価ができる状況となっている。

#### 【監理団体と契約する前の注意事項について】

- ・ 監理団体に丸投げでお願いするのは危険で、中身まで確認する必要がある。
- ・ 監理団体が数多くある中で、やはり聞くことが大事である。それは全国社会福祉法人経営者協議会でも推奨されていることである。監理団体の料金体系や監理の実務、今までの実績、連携している送り出し機関がどこなのか、そういう情報を全部確認する必要がある。例えば、ベトナムで介護の認定を持っていないところと連携して

いるケースもあつたりするので、情報確認が不可欠である。

- ・ 道外の監理団体を利用するなら、費用が上がる。技能実習制度では、月 1 回企業へ監理することが規定されている。道外だと、出張費等が増える。それにより、抜け道を作る監理団体が数多くある。例えば、東京に本社がある監理団体は、北海道にも駐在員を配置している。本来であれば、北海道でも登録しないと監理できないはずだが、無登録の駐在員を派遣しつつ、監理団体の関係者が来たとき書類を作れば完了するようなケースも数多くある。
- ・ 優良な監理団体を見つけるには、外国人介護人材を受入れた実績のある介護事業者に聞くのが一番の近道である。

### 【介護関連の各国の現状について】

- ・ ベトナムは最近経済の成長で、日本に来る意味が薄くなり、来日者の質が落ちている。大学や大学院を出た高学歴の外国人が多い一方、悪質な監理団体を経由して入国する外国人は質が悪いという話を聞いたことがある。
- ・ ベトナムは介護分野における外国人の受入れの歴史が長いので、言葉の問題や介護・日本に関する知識の勉強がしっかりしている。
- ・ ベトナムの競争率が高い。昔は、試験が受かっても、対人関係等いろいろできてからでないと受入れることができなかったが、今は試験が受かったら、受入れ先がすぐ確保できるようになっている。早く日本へ行きたい人が多く、取り争いになっているので、これからどんどん質が下がるのではないかという心配がある。
- ・ インドネシアは 100 以上の島からなっている島国で、貧困の人が多いが、熱心さ等がある。一方、「イスラム教=イスラム国」と勘違いしている日本人が数多くいるので、インドネシアにマイナスの気持ちを持っている人もいる。
- ・ ミャンマーからの受入れはこれから増えると思われる。
- ・ カンボジアは教育に時間がかかる。ほかの国と比べ、カンボジアは、現地での義務教育の仕組みがあまりきちんと整備されていない。10 歳になっても学校には行かず、農作業をやっている人が多い。一方、カンボジアは一生懸命でまじめに頑張る人も多い。
- ・ フィリピン人を受入れるには、POLO という団体を通さないとできないので、コストが高い。一方、フィリピンは質の高い人材が多いとも言われている。

#### (4) その他向け

##### 【外国人介護人材に関する制度について】

- ・ EPA について、人材不足の介護事業者が増えていることで、EPA を希望する事業者がかなり増えている。昔は2、3人の採用ができたが、今は1法人1人と限定されている。EPA の人材は限られているうえ、費用もかかる。
- ・ 在留資格「介護」で就職する外国人は、とても優秀なので、できれば多人数を採用したいが、現在介護福祉士養成校は定員に達せないという現状がある。数少ない卒業生は、全国の介護事業所が競争して採用することになる。また、入学している学生が大体紐づけている。新規確保がなかなかできない。
- ・ 事業所の立場から見れば、事務的なコストという視点で言うと、技能実習より、特定技能を取り入れやすい。ただ、特定技能は海外から来る流れがまだできていない。現実的には、まず技能実習で受入れて、その後特定技能に変えてもらうという流れが一番スムーズかもしれない。

##### 【北海道の課題等について】

- ・ 介護分野で働く外国人は、日本語の問題のみで、それ以外は日本の若者と同じ考えを持っている。将来のキャリア形成がはっきりと見える介護事業者は、外国人にとって人気度が高い。
- ・ 北海道における外国人介護人材の確保において、冬季が長く、雪が多いことや光熱費が高いことが大きな課題となっている。特に日本で暮らす経験を持っている人が、その課題意識が高くなっている傾向がある。

## 第4章 意見交換会の開催

## 1. 開催概要

開催目的	アンケート調査とヒアリング調査の結果について共有し、マニュアル（案）に関する意見をいただくこと
開催日時	2月9日（木）10：00～11：40
開催方法	ハイブリッド オンライン開催（Zoom）& 会議室
開催内容	(1) 開会 (2) 本調査研究事業についての報告 ① アンケート調査の実施 ② ヒアリング調査の実施 ③ マニュアル（案）の報告 (3) 意見交換 (4) 閉会

### 【参加者】

所属・役職	氏名	備考
社会福祉法人黒松内つくし園・理事長	大代 貴輝	介護事業者、監理団体、登録支援機関
パーソルキャリア株式会社・(厚生労働省「地域外国人材受入れ・定着モデル事業」受託事業者) 事業責任者/地域担当	多田 盛弘 樋口 直子	登録支援機関、コンサルタント
社会福祉法人石狩市社会福祉協議会・地域福祉課課長	久保田 貴浩	介護事業者
社会福祉法人小樽育成院 特別養護老人ホームやすらぎ荘・施設長	田村 成人	介護事業者
医療法人社団久仁会 介護老人保健施設いきいき人事課	天野 雅美	介護事業者



### 【オブザーバー】

所属・役職	氏名
厚生労働省北海道厚生局長	中山 鋼
厚生労働省北海道厚生局健康福祉部地域包括ケア推進課課長	高松 良江
北海道保健福祉部高齢者支援局高齢者保健福祉課課長補佐	永川 修
北海道保健福祉部高齢者支援局高齢者保健福祉課人材育成係係長	久保 康一
株式会社北海道医療新聞社介護新聞編集部記者	盛田 真佐江

### 【事務局】

所属・役職	氏名
(株) 北海道二十一世紀総合研究所調査研究部・次長	河原 岳郎
(株) 北海道二十一世紀総合研究所調査研究部研究員	劉 曉萃

## 2. 開催結果

意見交換では、全体の構成や表現の修正のほか、内容について、主に下記の意見があった。

No.	主な意見&指摘
1	概要版と本編に分けて作成すること
2	北海道ならではの冬季期間の課題をもっと明確に記載すること
3	技能実習と特定技能に関する制度の現在の流れを明確に記載すること
4	ベトナム人材の確保が難しくなっている現実を明確に記載すること
5	EPA、技能実習、特定技能から在留資格「介護」を取得する方法の図を修正すること
6	「基本理解」に初期費用と定期費用の説明を追加すること
7	外国人の事例紹介で、家族への送金にする話を削除すること
8	道内介護事業者に対応可能な監理団体や登録支援機関のリストの出典を明示すること

## 第5章 マニュアルの作成

## 1. 既存マニュアルの整理

外国人介護人材の受入れに関する既存のマニュアルについて、下記の項目から整理した。

①タイトル	②基本情報	③掲載内容の有無
	<ul style="list-style-type: none"> <li>発行元</li> <li>発行日</li> <li>ページ数</li> <li>概要</li> <li>重点&amp;特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人介護人材の現況</li> <li>4つの資格の比較表</li> <li>4つの資格に関する説明</li> <li>特定技能への移行</li> <li>在留カードの説明</li> <li>監理団体の説明</li> <li>監理団体のリスト</li> <li>登録支援機関の説明</li> <li>登録支援機関のリスト</li> <li>介護事業者の事例</li> <li>外国人介護人材の事例</li> <li>各国の特徴</li> <li>定着策</li> <li>関連サイトの掲載</li> </ul>

既存のマニュアルは主に下記のものがある。

### 【No. 1】

タイトル	外国人介護職員の雇用に関する介護事業者向けガイドブック
発行元	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
発行日	2019年3月
ページ数	15ページ
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>4つの資格の比較表</li> <li>外国人介護職員とその雇用状況</li> <li>外国人介護職員を雇用できる4つの制度</li> <li>4つの制度の比較表</li> <li>外国人介護職員の雇用事例と事業者の声</li> <li>外国人介護職員の雇用にあたって気を付けたいこと</li> <li>外国人介護職員の雇用に関する相談先一覧</li> <li>外国人介護職員を雇用できる制度に関する詳しい情報</li> </ul>
重点&特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>受入れの手続き等に重点</li> <li>介護事業者の事例の掲載</li> </ul>

【No. 2】

タイトル	国際介護職員雇用マニュアル
発行元	川崎市国際介護人材サポートセンター
発行日	2019年9月
ページ数	27ページ
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ はじめに</li> <li>・ 外国人労働者の現状</li> <li>・ 在留資格の理解（在留カードの説明、全分野の在留資格等）</li> <li>・ 外国人介護職員を雇用できる制度の概要</li> <li>・ 外国人雇用時のルール</li> <li>・ 外国人介護職員の雇用にあたって気を付けること</li> </ul>
重点&特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 制度の説明に重点</li> </ul>

【No3.】

タイトル	外国人材受入れに失敗しないためのガイドブック
発行元	広島県
発行日	2019年10月
ページ数	41ページ
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国人材の受入れの視点等</li> <li>・ 受入前の留意点</li> <li>・ 受入れ後の留意点</li> <li>・ コミュニケーション</li> <li>・ 災害や病気の際の対応</li> </ul>
重点&特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受入れを始める前と受け入れた後の一連のポイントの集約</li> <li>・ 特定技能に重点</li> </ul>

【No. 4】

タイトル	外国人介護人材受入れガイドライン
発行元	社会福祉法人全国社会福祉協議会 全国社会福祉法人経営者協議会 福祉人材対策委員会外国人介護人材特命チーム
発行日	2020年3月
ページ数	51 ページ
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 【基礎理解】編（必要な視点等）</li> <li>・ 【具体的実践】共通編</li> <li>・ 【具体的実践】EPA編（特徴、受入れまでの流れ、費用）</li> <li>・ 【具体的実践】外国人留学生編</li> <li>・ 【具体的実践】技能実習編（特徴、受入れまでの流れ、監理団体選定ポイント）</li> <li>・ 【具体的実践】特定技能編（特徴、受入れまでの流れ）</li> <li>・ 参考リンク（QRコード集）</li> </ul>
重点&特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受入れの手続き等に重点</li> <li>・ 参考リンク QRコードの掲載</li> </ul>

【No. 5】

タイトル	外国人介護従事者の受入れガイドブック
発行元	社会福祉法人東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会人材対策委員会
発行日	2020年3月
ページ数	44 ページ
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4つ資格の比較表</li> <li>・ 日本語能力試験の概要</li> <li>・ 採用から就労まで</li> <li>・ 生活支援</li> <li>・ 多様性に配慮したマネジメント</li> <li>・ 困ったときの対応</li> <li>・ 外国人介護職員・日本人職員の声</li> </ul>
重点&特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受入後外国人への支援に重点</li> </ul>

【No. 7】

タイトル	外国人介護人材受入れのためのガイドブック
発行元	広島県
発行日	2021年3月発行（2022年3月改訂）
ページ数	49 ページ
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4つ資格の比較表</li> <li>・ 4つ資格の概要</li> <li>・ 4つ資格の主な特徴</li> <li>・ 現状受入れ状況</li> <li>・ 在留カードの説明</li> <li>・ 受入れ時の注意点</li> <li>・ 受入れの増加が見込まれる「特定技能1号」</li> <li>・ 技能実習から特定技能への移行</li> <li>・ 受入機関と登録支援機関について</li> <li>・ 移行手続き</li> <li>・ 外国人介護職員に対する日本語教育</li> <li>・ 仕事面、生活面、言語面での支援</li> <li>・ コミュニケーションと異文化理解・・・</li> <li>・ 外国人の事例</li> <li>・ 窓口一覧</li> </ul>
重点&特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受入先に必要な外国人への支援に重点</li> <li>・ 外国人事例の掲載（写真や取材内容等）</li> </ul>

【No. 8】

タイトル	特定技能外国人の受入れに関する介護事業者向けガイドブック
発行元	三菱UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
発行日	2021年3月
ページ数	28 ページ
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 座談会（専門家の意見交換会話）</li> <li>・ 「特定技能」の概要</li> <li>・ 特定技能の受入れ現状</li> <li>・ 特定技能外国人の受入れにあたり行うこと</li> <li>・ 送り出し国との関係</li> <li>・ 参考資料（自治体取組事例の紹介、特定技能に関する各国別情報、4つ資格の比較表、相談窓口）</li> </ul>
重点&特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定技能の事例紹介に重点</li> </ul>

【No. 9】

タイトル	外国人介護職採用チェックシート
発行元	一般社団法人にほん語でかいご共育会
発行日	2021年11月
ページ数	13 ページ
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護職として就労できる在留資格</li> <li>・ 国籍と宗教の特徴</li> <li>・ 外国人を求人募集するとき</li> <li>・ 外国人を面接するとき</li> <li>・ 外国人を雇い入れるとき</li> <li>・ 外国人の生活支援について</li> <li>・ 就労中の対応について</li> <li>・ 外国人が退職するとき</li> <li>・ 学習支援について</li> <li>・ 支援事業所等のご案内</li> </ul>
重点&特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受入れ前→受入れ後の一連のポイントチェック</li> </ul>

【No. 10】

タイトル	受入事業所のための介護事業実習生キャリア支援ガイド 2022
発行元	みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社
発行日	2022年3月
ページ数	52 ページ
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護分野の技能実習にまつわる近年の動向</li> <li>・ 現在活躍中の技能実習生の声</li> <li>・ 技能実習修了後の進路の広がり</li> <li>・ 技能実習2号修了を見据えた準備</li> <li>・ 介護職としてのキャリア形成を支援するために</li> <li>・ 日本で習得した知識・技能を活かして母国で活躍することを支援するために</li> <li>・ 【座談会】外国人介護職員の活躍を支えるプレイヤーの役割</li> <li>・ 参考資料</li> </ul>
重点&特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技能実習修了後の進路に重点</li> </ul>

## 2. マニュアル構成

マニュアルは概要版と本編に分けて作成した。本編の構成は下記の通り。

### ◆ 目次 ◆

<b>1</b>	<b>基本理解</b>	1
1	採用ニーズに合わせて4つの資格を検討	1
2	採用にあたっての心構え	2
3	定着に向けたチェックポイント	3
4	外国人介護人材の受入状況	5
5	外国人介護人材における各国の特徴	6
<b>2</b>	<b>受入れ可能な制度の説明</b>	9
1	4つの資格の比較一覧表	9
2	EPAの概要	10
3	在留資格「介護」の概要	12
4	技能実習の概要	14
5	特定技能の概要	18
6	監理団体と登録支援機関の選定チェックポイント	22
7	介護事業者の立場から見る技能実習と特定技能の比較	23
8	4つの資格に関するイメージ図	24
<b>3</b>	<b>事例紹介</b>	25
1	道内介護事業者の採用事例	25
2	過去のトラブル事例	51
<b>4</b>	<b>参考リンク集</b>	52